

調布市・崖線樹林地  
ガイドマップ

ちょうふ環境市民会議がつくる

もりのちず



カニ山編

令和2年9月発行

企画編集  
ちょうふ環境市民会議  
info@chofu-kankyo-shimin.org

深大寺自然広場(カニ山)によるこそ

この絵図に描かれた森と原っぱの多くは、調布市では「深大寺自然広場」と呼ぶ場所です。しかし、いつの時代からかこのあたりで遊ぶ子供が時々見つけるサワガニから、人々は親しみをこめて「カニ山」と呼んでいます。このカニ山には、変化に富む地形、谷に湧く泉、崖のひだにそって続く森と森に包まれた原っぱがあり、そして、多様な生きものも見られます。また、このカニ山には煮炊きができる野外炉や洗い場、武蔵野の植物を集めた野草園等、市が提供する野外活動や学習の為の施設も備えています。表面の絵図と裏面のカニ山で見られる主な動植物の紹介を使い、このカニ山の自然とのふれあいが深まることを願います。

崖線・谷戸・泉・雑木林

カニ山は、古い多摩川が武蔵野台地を削ってつくった、立川市辺りから国分寺市、小金井市、三鷹市、調布市、世田谷区を横切り大田区まで続く国分寺崖線とよばれる崖地の一部です。

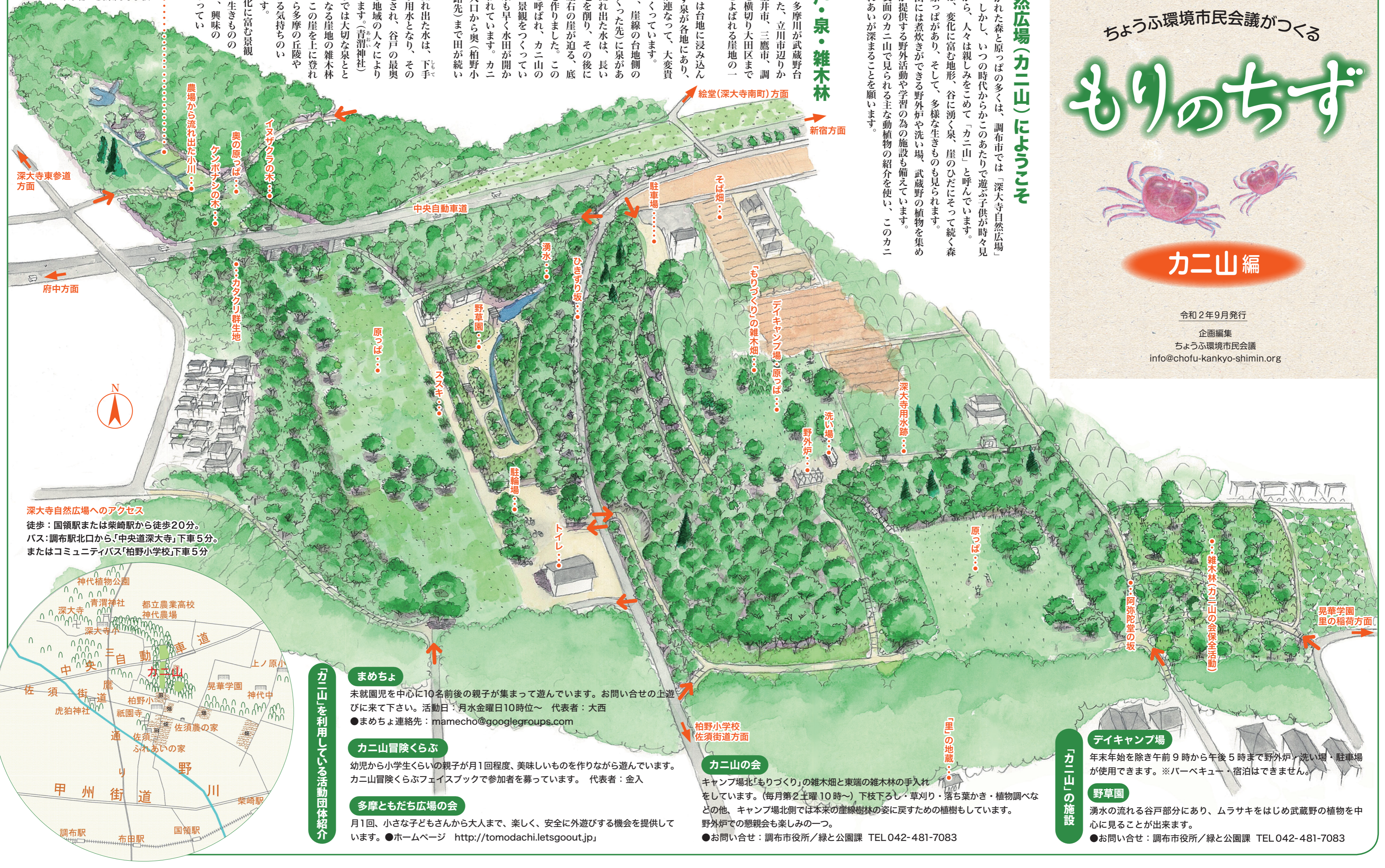
この崖線の下では台地に浸み込んだ雨水が湧き出す泉が各地にあり、その周りに樹林が連なって、大変貴重な緑の回廊をつくっています。

特にカニ山では、崖線の台地側の奥(高速道路をくぐった先)に泉があり、この泉から流れ出た水は、長い時間をかけて台地を削り、その後土砂が堆積して左右の崖が迫る、底の平な細長い谷を作りました。この地形は「谷戸」と呼ばれ、カニ山の独特な地形と緑の景観をつくっています。谷戸は、最も早く水田が開かれました。谷戸は、最も早く水田が開かれました。カニ山も以前は谷の入口から奥(柏野小方面から高速道路先)まで田が続いていました。

この谷戸から流れ出た水は、下手の水田や畑を潤す用水となり、その源は大切な場所とされ、谷戸の最奥には古い時代から地域の人々により神様が祭られています(青淵神社)。この谷戸の周りでは大切な泉とともに、堆肥や薪になる崖地の雑木林が残されました。この崖の上に登れば、木立ちの間から多摩の丘陵や富士山も眺められる気持ちのいい雑木林があります。

このカニ山の変化に富む景観や環境は、植物や生きものも多様さをもち、興味のある生きない場所になっています。

都立農業高等学校神代農場  
原則、毎週木曜に一般公開しています。正門は三鷹通り青淵神社向い。  
●お問い合わせ  
東京都立農業高等学校



深大寺自然広場へのアクセス  
徒歩：国領駅または柴崎駅から徒歩20分。  
バス：調布駅北口から「中央道深大寺」下車5分。  
またはコミュニティバス「柏野小学校」下車5分



「カニ山」を利用している活動団体紹介

- まめちよ**  
末就園児を中心に10名前後の親子が集まって遊んでいます。お問い合わせの上遊びに来て下さい。活動日：月水金曜日10時位～ 代表者：大西  
●まめちよ連絡先：mamecho@googlegroups.com
- カニ山冒険くらぶ**  
幼児から小学生くらいの親子が月1回程度、美味しいものを作りながら遊んでいます。カニ山冒険くらぶフェイスブックで参加者を募っています。 代表者：金入
- 多摩ともだち広場の会**  
月1回、小さな子どもさんから大人まで、楽しく、安全に外遊びする機会を提供しています。●ホームページ <http://tomodachi.letsgoout.jp>

**カニ山の会**  
キャンプ場北「もりづくり」の雑木畑と東端の雑木林の手入れをしています。(毎月第2土曜10時～) 下枝下ろし・草刈り・落ち葉かき・植物調べなどの他、キャンプ場北側では本来の崖線樹林の姿に戻すための植樹もしています。野外炉での懇親会も楽しみの一つ。  
●お問い合わせ：調布市役所/緑と公園課 TEL 042-481-7083

**「カニ山」の施設**

- デイキャンプ場**  
年末年始を除き午前9時から午後5時まで野外炉・洗い場・駐車場が使用できます。※バーベキュー・宿泊はできません。
- 野草園**  
湧水の流れる谷戸部分にあり、ムラサキをはじめ武蔵野の植物を中心に見ることが出来ます。  
●お問い合わせ：調布市役所/緑と公園課 TEL 042-481-7083